

「希望をむねに力を合わせ、笑顔あふれる運動会にしよう」

これは、5月29日に行う予定の運動会のテーマです。各学級の意見を持ち寄り、代表委員会で決定したもので、3階の窓に掲示しています。

このテーマの中に書かれている「希望をむねに」や「力を合わせ」、「笑顔あふれる」は喜々津小の子どもたちに大切にしてほしい態度でもあります。運動会までのプロセスには、きついときや悔しいときもあるでしょうが、投げ出すことなく、仲間と力を合わせ、喜びを分かち合い、競技・演技する子どもも、観る人も笑顔になれるようにしてほしいです。



1年生は、小学校に入学して2か月足らずですが、保育園・幼稚園の頃とは違った凛々しい姿を見せようと、練習を頑張っています。また、高学年は、競技の他に「応援」や「係」など、全体に関わる活動があり、他の学年以上の経験をしています。

しかし、13日から4年生以上に新型コロナウイルスの感染が相次ぎ、4年生全学級、5年生1学級を21日まで閉鎖しました。このため、今週の全体練習は中止しています。この時期に練習ができないのは痛いですが、これで感染が止まり、29日には運動会ができることを願うばかりです。

今後の感染状況次第で、参観者数や種目の変更等をする場合もあります。その際は、安心メールやスクールネットメールで配信しますので、すぐチェックできるようご準備をお願いします。

みんなが元気に、安心して生活するために

諫早市の学校には、「心の相談室」があり、そこに週1～2日「心のケア相談員」が在室し、昼休み等に相談を受けています。本校では、児玉 薫先生が、原則として水・金曜日の午前10時から午後2時までおられ、来室する子どもたちの話を聞いたり、各教室の子どもの様子を見てまわったりされています。

相談は本校の児童なら誰でもできます。不安や人間関係の悩み、学校や家庭での困りごとがあれば、訪ねてみるようにおっしゃってください。また、保護者からのご相談も随時受け付けています。事前に連絡をいただければ調整をしますので、担任または教頭にお知らせください。

心の相談室は、本校の2階、図書室の右奥にあります。



児玉 薫先生

学校支援会議「喜々津っ子協育会」はじまる

学校支援会議とは、校区の自治会・民生委員・老人会・社会福祉協議会・健全育成会・保育施設の代表の方々、登校見守り・読み語り・体験授業の指導などのボランティアの方々、そしてPTA本部役員さんと教職員が集まり、「地域の子どもは、地域で育てる」という視点から、例えば「あいさつ」「モラル」や「ふるさと学習」など、具体的な目標を共有して協議したり、解決のために協働したりする組織です。

第1回の会議を5月12日に開きました。会長や地域コーディネーター、学校コーディネーター等を選出し、今後は、「ふるさと教育」につながる授業や行事の支援、「楽校へ行こう」などPTA活動や「地域の活性化」につながる地域団体との相互協力について取り組んでいきます。また、来年度は本校創立150周年を迎えるので、記念行事についても協議していく予定です。